

映画で学ぶロシア 2018

(ソビエト短編アニメ上映会)

スタジオジブリの宮崎駿監督はソ連の長編アニメ「雪の女王」を見てアニメーターを志したと言われています。ソ連時代に「雪の女王」や「せむしの仔馬」のような大作以外にも作家の個性の強い短編アニメが数多く作られました。その中で、フョードル・ヒートルーク監督はその短編の名手として知られています。今回は彼の短編3作品を上映し、時間的余裕があればテレビで繰り返し放映されていた短編を幾つか紹介します。

ヒートルーク監督の3作品（字幕なし）にはセリフがほとんどありませんのでロシア語を知らない方にもお楽しみいただけるはずです。

「ある犯罪の物語 (История одного преступления)」1962年 20分

善良で温厚な男性が隣人への暴行に至る過程を描いて凶行の責任は誰にあるかを問うた作品。ソ連時代にロシアを訪れたり長期滞在したりした方の中には、作中に描かれた凶行の背景に思い当たる方も多いでしょう。

「フィルム、フィルム、フィルム (Фильм, фильм, фильм)」1968年 20分

天気待ちのロケ、思い通りに演技してくれない子役、上からの撮り直し命令など、映画制作に携わる人々の苦労は世界共通であることを感じさせる作品。

「にぎやかな無人島 (Остров)」1973年 10分

絶海の孤島で助けを求める男と、その横をただ通り過ぎていく世界を描いた作品。最期に訪れる意外な形の救いが深い余韻を残しています。

日時：2018年9月15日（土）

場所：神戸市教育会館 402号室 14時～16時

資料代：協会員及びロシア語講座受講者 無料、一般 500円

申し込み先：メール roshiagodaisuki@yahoo.co.jp

電話 080-8536-5683

準備の都合上、前日までにお申し込みください。

主催：兵庫県日本ロシア協会